卒園式
卒業式特集

▲上士幌中学校卒業式／３月15日（水）

▲認定こども園卒業記念係留／３月23日（木）

▲認定こども園卒園式／３月20日（月）

▲学童保育所卒所式／３月24日（金）

▲上士幌小学校卒業式／３月24日（金）

3・4月のまちのわだい

▲３月17日、100歳を迎えられた今村よし子さんに、祝金が贈呈されました。

◆民生委員児童委員が決定しました。

これまで欠員となっておりました民生委員児童委員が決定しましたのでお知らせします。（そのほかの委員は広報かみしほろ2023.２月号をご参照ください）

・担当区：11の２区
・氏　名：斉藤　敦子
・住　所：２区
・電　話：２－３９５８

入園式
入学式特集

▲認定こども園入園式／４月７日（金）

▲上士幌中学校入学式／４月10日（月）

▲上士幌小学校入学式／４月10日（月）

▲学童保育所入所式／４月10日（月）

▲上士幌高等学校入学式／４月10日（月）

子育て支援センター

3/1 親子でバス遠足2023

３月１日、子育て支援センターでバス遠足が開催され、足寄町にあるネイパル足寄まで親子でお出かけしました。

大型バスでのお出かけにお子さんも保護者の方もわくわくどきどき。当日はお天気にも恵まれ、スノーラフティングやそり遊び、雪道探検等、親子での初めての挑戦に「冬の遊びを親子で楽しめた」「大きなバスに乗れた」との感想が届き、みんなで楽しい一日を過ごすことができました。

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）

3/14 市川組が300万円寄付

３月14日、株式会社市川組様から、「生涯活躍のまちかみしほろ」の取り組みに対し、300万円を寄付していただきました。

今回、企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）で寄付を受けたことにより、国のデジタル田園都市国家構想交付金の交付期間も延長されることになります。

竹中町長は「今回の寄付と交付金との相乗効果で何倍もの成果が期待できる。まさに官民協働の取り組みとして、町民に喜んでもらえれば」と話しました。

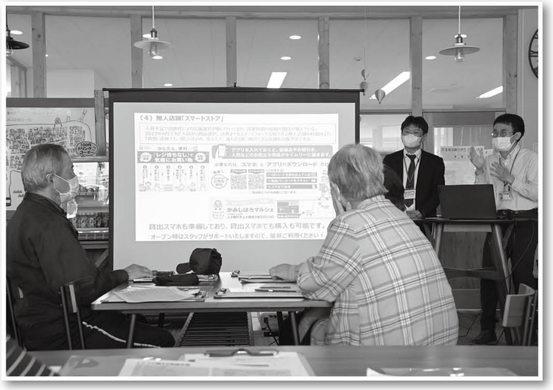
社会福祉関係功労者

3/20 十勝総合振興局長表彰

３月20日、社会福祉関係功労者等十勝総合振興局長表彰が役場町長室で執り行われました。

今回は、社会福祉関係団体の役職員を15年以上務められた堂真之さん、社会福祉施設関係業務従事者を15年以上務められた萱森里恵さんが表彰されました。

竹中町長は、「長年本町の社会福祉を支えていただき感謝申し上げる。これからも孤独や不安を抱えている人を支えてほしい」と感謝しました。



困ったときは「スマホロ」へ！

3/21 町のデジタル化の取組を紹介

３月21日、ハレタかみしほろでスマホ相談窓口「スマホロ」の利用者等を対象とした、町のデジタル化の取り組みについて紹介する勉強会が開催されました。

これまで町が進めてきた自動運転バスやドローン、スマートストアやマイナンバーカードなど、さまざまな取り組みの説明に、参加者は聞き入っている様子でした。講師の菊地主幹は、「デジタルはとっつきづらいかもしれないが、やってみると意外と簡単にできることも多い、ぜひ挑戦してほしい」と話しました。

建設業協会と商工会女性部より

3/22 新一年生にプレゼント！

３月22日、令和５年度に小学校に入学する新一年生の児童へ、上士幌町建設業協会からクリアファイル、上士幌町商工会女性部から交通安全のお守りが寄贈されました。

建設業協会宮内総務部長は、「デジタル化が進んでいるが、まだまだ紙の提出物は多い。学校と家を繋げるツールになれば」と話し、商工会女性部の小寺副部長は、「運転手や町民の方がマスコットのお守りを見て、安全を心がけてもらえれば」と話しました。

退任民生委員児童委員

3/23 表彰状、感謝状を伝達

３月23日、民生委員児童委員を退任された方に表彰状および感謝状の伝達が執り行われました。

退任される方は21年活動された斉藤博子さん、15年活動された江波戸礼子さん、12年活動された長屋晴夫さん・齋藤美惠子さん、６年活動された兼子義雄さん、３年活動された尾形祐子さん・松岡正清さんです。

今回は全国民生委員児童委員連合会、厚生労働省、北海道から授与・贈呈されたものです。

日本郵政株式会社

4/10 タウシュベツ川橋梁切手発売

４月10日、日本郵政株式会社様が「北海道 十勝 タウシュベツ川橋梁」のオリジナルフレーム切手を販売開始し、発売を記念して上士幌町にフレーム切手が贈呈されました。デザインには、タウシュベツ川橋梁の撮影で有名な写真家、岩埼量示氏の厳選した写真を使用しています。

日本郵政株式会社十勝地区連絡会地区統括局長の沼袋様は、「この切手をきっかけに、ぬかびら源泉郷の振興に役立てれば嬉しい」と話しました。

▶交通安全指導員の大友健治さんが北海道善行賞を受賞され、３月６日に十勝総合振興局にて授賞式が行われました。

北海道善行賞は交通安全指導員として、10年間にわたって小学生への交通指導等の実践活動を行い、町の交通安全運動推進のため活躍された方に対し、送られる賞です。

▶３月31日をもって交通安全指導員の工藤浩さんが退任されました。平成18年以来16年間、季節、天候を問わず子供たちが安全に通学できるよう、日々見守ってきました。長きにわたる指導員活動、本当にお疲れ様でした。

※工藤さんは４月７日にお亡くなりになりました。謹んでお悔やみ申し上げます。本稿はご遺族の意向により掲載しております。

３・４月の まちのわだい

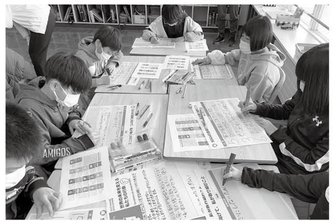
上士幌町SDGs推進 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

未利用エネルギーの活用に向けた勉強会を実施！

3月16日、ぬかびら源泉郷において未利用エネルギーの活用に向けた町民向けの勉強会を実施しました。環境省の「第１回脱炭素先行地域」に選定された本町は、町内全域を対象とした脱炭素の実現に向け、太陽光発電やバイオガス発電などに加えて、地域の特色に応じた新たなエネルギー源の確保について検討しています。勉強会では、NTT東日本を講師として招き、温泉熱や排湯を利用した温室栽培や陸上養殖、小水力発電などの活用手法及び導入事例について紹介いただきました。

また同日には、役場職員を対象とした勉強会も開催し、熱利用や食品残渣（生ごみ）を活用したバイオガスプラントについての概要や導入事例などについて学びました。

令和４年度の上士幌小学校の出前授業が終了しました！



昨年９月より行ってきた上士幌小学校の５年生を対象とした年間約30時間のSDGs授業について、３月８日で最終回を迎えました。これまで学んだ17の目標の達成に向けて、自分たちでこれから取り組んでいくSDGsアクションの取りまとめを行いました。

また、３月20日には、前年の教え子である６年生のSDGs卒業発表会が開催されました。自分たちで目標を定め、この１年の間に取り組んできたSDGsアクションの成果について発表を行いました。

国内外へ積極的な普及啓発活動を展開中！

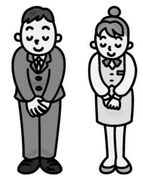
本町の魅力や将来性の発信として、積極的に普及啓発活動を行っています。昨年４月から本年３月までの１年間（令和４年度）で、SDGsとゼロカーボンに関わる視察の受け入れを142件、セミナーなどでの講演活動を72件行ってきました。

なお、４月以降も視察の受け入れや国内外での講演依頼が続々と入っています。今後も精力的な普及促進活動を通じて、人や企業、投資の流れをさらに呼び込びながら、町の持続可能性を高めていきたいと考えています。

よろしくお願いします！ 役場の新人紹介

今年度は、９名の職員が役場に入りました。
信頼される職員となれるよう一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

①氏名（年齢）
②担当課
③出身地



①前阪（まえさか）　賢吾（けんご）（22歳）
②生涯学習課
③札幌市

はやく仕事に慣れて、１日でも早く住民の方々の力になれるように頑張ります。まだまだ頼りない新人ですが、これからよろしくお願いします。

①板垣（いたがき）　梨絵（りえ）（42歳）
②教育推進課
③留萌市

子育ての毎日の中での楽しさもつらさも共有させていただき、楽しみに変えていけるようお手伝いできればと考えております。

①松盛（まつもり）　竜也（たつや）（26歳）
②商工観光課
③兵庫県姫路市

上士幌町に訪れた際に一目ぼれし、移住を決意し引っ越してきました。

この素敵な町を皆様と一緒に盛り上げ、より魅力的にしていけるよう一生懸命務めさせていただきます。

①有井（ありい）　ななみ（18歳）
②町民課
③帯広市

高校卒業後、すぐの就職で未熟なところばかりですが、いち早く仕事に慣れ、上士幌町に貢献できるよう頑張ります！

これからよろしくお願いいたします。

①坂下（さかした）　和輝（かずき）（22歳）
②保健福祉課
③音更町

四月から保健福祉課に配属された、坂下和輝です。

町民の皆様に安心して生活していただくためにも、早く仕事を覚えられるように頑張りますので、よろしくお願い致します。

①沢座（さわざ）　大輝（だいき）（22歳）
②農林課
③帯広市

４月に引っ越してきて、まだわからないことだらけですが、早く町のため、町民のためになるよう、に努めますのでこれからよろしくお願いします。

①瀧口（たきぐち）　依緒里（いおり）（23歳）
②企画財政課
③陸別町

上士幌町という活気のある町で働けることを嬉しく思います。一日でも早く業務を覚えて貢献できるように努力しますので、どうぞよろしくお願いします。

①板垣（いたがき）　俊（しゅん）（41歳）
②教育推進課（地域おこし協力隊）
③恵庭市

主に上士幌小学校に勤務予定です。道東では初めての生活です。地域の自然や地理を日常生活から学び、こどもたちのことも知っていきたいと思います。

①遠藤（えんどう）　文美恵（ふみえ）（23歳）
②企画財政課（地域おこし協力隊）
③帯広市

上士幌町に来たばかりですが、この町の特色や強みを見つけ、魅力を伝えられるよう努めます。

早く皆さまの力になれるように頑張ります。

よろしくお願いします。

令和5年度 「上高たより」

上士幌高校です！

文責：教頭

No.61
令和 5 年
4 月25日

TITLE：本年度、本校に着任した４名の教職員を紹介します

名　　前：宮田（みやた）　真克（まさかつ）
前 任 校：野幌高校
職　　種：校長（体育）

名　　前：長屋（ながや）　勉（つとむ）
前 任 校：白樺学園高校
職　　種：教諭（英語）

名　　前：三好（みよし）　史弘（ふみひろ）
前 任 校：帯広三条高校
職　　種：教諭（理科）

名　　前：細川（ほそかわ）　善輝（よしてる）
前　　職：ネイパル深川
職　　種：CSコーディネーター

● 宮田校長先生は高校野球をこよなく愛し、少林寺拳法を嗜む武道の人でもあります。長屋先生は教諭以外にも多彩な職歴を経て来られ、テニスの指導者でもあります。三好先生はハンドボールの指導者であり、本校ハンド部の躍進に大きく寄与してくれそうです。細川さんは社会教育施設からの転身で、本校と町の大切なジョイントを一身に担っていただくことになります。これからも「地域に貢献できる人材育成（スクールミッションより）」を旨に進んでいきます。

なお、４年の長きに渡って在任した渡邊校長は札幌真栄高校へ、植井先生は北海道あいの里高等支援学校へそれぞれ転出され、香川先生と事務の柴田さんは退職されました。

上士幌高校新聞局通信

月刊 上高

６８名の１年生が入学しました

文責 新聞局顧問 山形 剛

４月10日に新２・３年生が登校し、新年度が始まりました。マスク着用が個人の判断になりましたが、まだほとんどの生徒はマスクを着けています。始業式では４年振りに校歌「斉唱」がありましたが、今まで歌ってこなかったのでほとんど聞こえなかったのがちょっと残念でした。また毎年のことですが、２年生はクラス替えの発表を見て一喜一憂していました。また、３年生は入学式の会場準備ひとつとっても落ち着きと余裕が感じられます。

午後からは入学式が行われ、68名の１年生が入ってきました。この時の有志発表による校歌披露では60余名の生徒が大きな声を体育館に響かせ、久しぶりに学校の日常が戻ってきたことを実感しました。今年度も「大きな挑戦」に向けた１年にご支援をお願いします。

△入学の宣誓をする上士幌中学出身の西垣瞳さん

△緊張の面持ちで新しい担任の話を聞いています

△部活動紹介でサッカー部のPKに参加した1年生男子

町民文芸

短歌

ついに叶う姓をたがえし三姉妹語らう日なりときに黙（もだ）して　尾野よし乃

アンチだが夢中で見てたWBCメキシコ戦の逆転が好き　中濵夏希

目が覚めて窓からの日射し春らしく開けばいまだ風は冷たく　加藤秋子

ウォーキング再開したらいつもの道程（みちのり）の遠く感じたすら歩く　松田理恵

新年度物の価格が上昇し安いの無いかと店行き探す　米森真弓

夕食を終へてテレビの野球見る家族と一緒の憩いのひととき　高木誠也

家籠る土日は晴れて暖かく洗濯終りまったりとする　高橋博明

満開の桜の下に人集い楽しげにいるコロナは治まり　中村仁志

公住に移り住みて春四月新しき生活始めるとする　鈴木豊

三年の月日を席巻せしコロナ漸く治まるこの春嬉し　石川裕子

編集後記

➲ 前月号で異動ムーブをかましながら、あたかも当然のように広報6年目となったTです。引き続きよろしくお願いいたします。

編集後記を書く際、前年同月、前々年同月……と見比べていくのですが、3年前の2020.5月号に「一度でいいから思う存分広報誌を作り込める環境で働いてみたいものです」とありました。愚か者め、皮肉にも一人で思う存分できる環境になりました。…T

広報 かみしほろ 6月号は 5月25日（木） 発行予定

戸籍の窓口

令和 4 年度 ふるさと納税寄付金

3 月分	2,261 件 32,723,000 円
累計	94,722 件 1,464,473,500 円

※上記の累計金額は、3月末現在で町に入金された額です。令和４年度の寄付総額は、確定次第改めてお知らせします。

上士幌町民憲章

1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。